

図画工作科

1 図画工作科が求めるもの

図画工作科の主たる目標は、「創造的心情の育成」であると考え。図画工作科という創造的心情とは、人間形成や生き方までも含めた「造形を通しての自己実現を求める心情」である。

自己実現とは、自分らしく生きる（個が生きる）ことであり、自分の存在に自信を持って、前向きに生きることであろう。創造性は、独自性（個性）と主体性、自由さがその基盤となると考える。

創造的な生き方とは、開放的で、柔軟な思考ができ、想像力に富み、主体的、能動的に行動し、冒険心にあふれ失敗を恐れず、独自の新しいものを創り出そうとする生き方であると考え。

図画工作科が求める子ども像は、このような創造的な生き方ができる子どもである。つまり、教師サイドと言うと、子ども達に、絵を描いたり、作品を作ったりするための知識や技能（手）の伝達をすることだけが図画工作科の目的ではなく、それをも含めて、型にはまった表現や、単に人まねに終わってしまう表現に満足しない独自性と個性を持ち、そして柔軟でイメージ豊かな発想・構想の能力（頭）を鍛えること、そして、美しいものを美しいと感じる心、さらに失敗を恐れず、くじけないチャレンジ精神も含めた、造形への関心・意欲・態度（心）を育てることが図画工作科の求めようとするものである。つまり、手と頭と心を鍛えることをめざしている。

本校では、特に、「創造的心情の育成」のうえで、自己実現をめざす内面性（心）の充実（豊かな感性の育み）に着目した教育を進めることが大切であると考えている。また「感性」を「価値あるものに気づく感覚」と、とらえ、何に対して気づき、何を感じるかという点で「選択」と「働きかけ」を伴うものであり、けっして単なる受身の感覚ではない。さらに、人間および人間を取り巻くあらゆる事象に対して、「気づき」、「感じ」たものから「考え」、（想像し）、「追求する」（表現する）活動を促し、その子どもの生き方



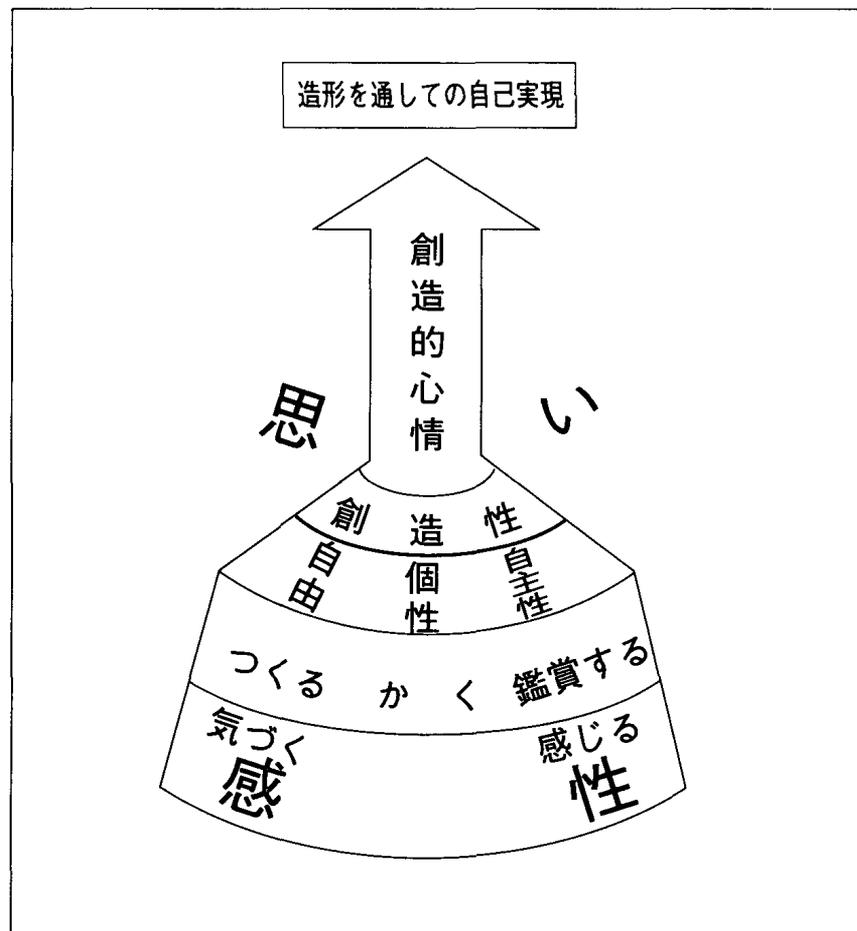
までを含めた人間形成と自己実現をめざすものとしてとらえている。

また、特に、子どもどうしの望ましい関わりをつくり、作品のみならず、発想、構想など互いの気づきや感じとりなどのよさに気づき、一人ひとりの存在を認め合うことを支援することが大切であると考えている。

2 豊かな感性を育む

図工科の目標「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な想像活動の基礎的な能力を育てるとともに表現の喜びを味わわせ、豊かな情操を養う。」（小学校学習指導要領）にあるように、特に図画工作科においては「情操を養う」ことが教科の主要な目標にある。このことはすでに述べた通りである。「情操」は「価値あるものに向かう感情」または「そのような感情を起こす準備状態」であると考えるとき、「情操」は、「感性」に促されて、より主体的に思考や意志や創造の働きと関わり、自己実現をめざす感情ととらえることができる。

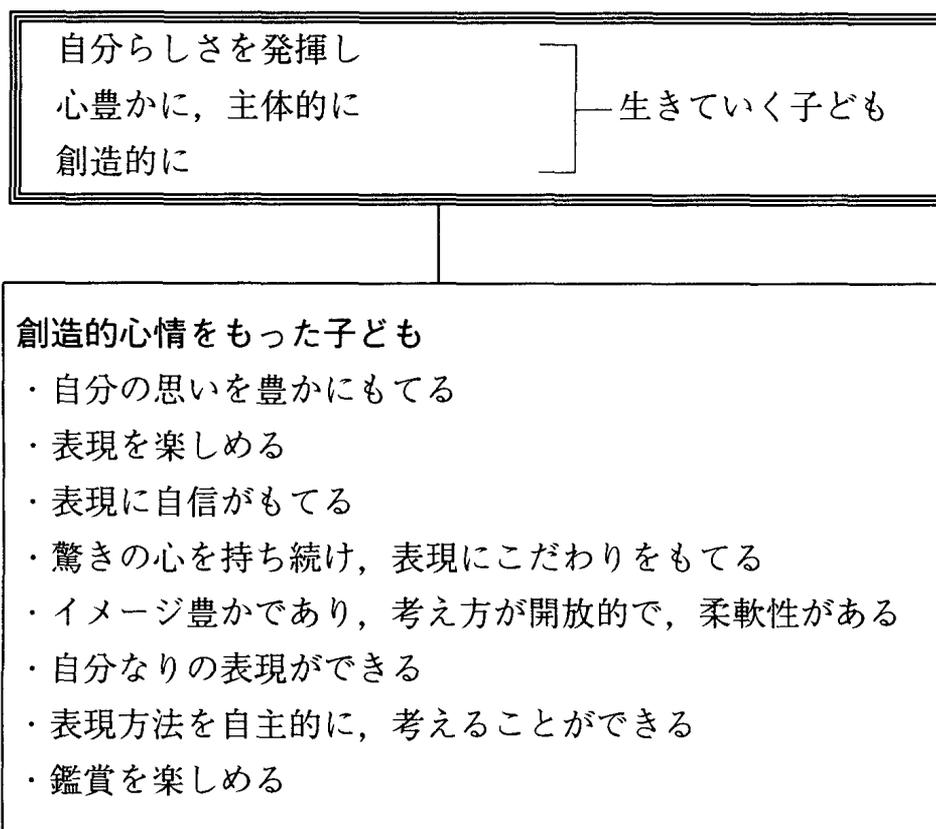
このように、「情操を養うこと」あるいは「創造的心情の育成」の基底に、「感性」を豊かに育むことが位置づくるととらえて研究をすすめてきた。



3 図画工作科における感性豊かな子どもとは

本校，図画工作科が考える豊かな感性を持つ子ども像を，新しい学力観にてらし，21世紀にむけ，次のように構想した。

21世紀 めざす子ども像



4 豊かな感性を育む図画工作科の支援

創造性の基本には，子ども達一人ひとりの内側に「つくりたい」「かきたい」という内発的動機に支えられた意欲がなければならない。本当にしたいことを没頭してやりとげるときに感性は育まれてゆくものであると考える。一人ひとりの思いや願いから始まる造形活動を通して，人間的な成長もはかれるのではないだろうか。

以上のことから図画工作科において，豊かな感性を育むポイントとして次の点を構想した。

(1) 題材開発……子ども達一人ひとりが自分の思いやよさや可能性を生かす授業のために

- ・子ども達一人ひとりの実態や立場に立ち，どの子も表現などの思いをもって関わるのが期待できる題材を吟味，選択，開発する。

- ・自分の表現や鑑賞の主題や意図を見つけるとともに、豊かな発想をしたり、構想をしたりすることができる題材の選定をする。
- ・子ども達はその題材による学習を自分のものとして受けとめ、ゆとりをもってかかわることができるように、一人ひとりの立場に立って工夫した題材名を提案したり、個に応じて、補充提案をしたりする。

(2) 豊かな思いを育む授業づくり…

- ・子ども達がふだんから興味・関心を持っているもの、あるいは、ふだん何気なく見ているものでも価値あるものに、感動的に出会う場の設定をすることで、豊かな思いをつくり出すことができると思う。
- ・一人ひとりの思いが大切されるように、思いのままに動き、試みることでできる雰囲気やゆとりある授業展開を心がける。

5 感性に着目した学習のプロセス

